

JRCS

ケーソン基礎設計プログラム(Ver.4.0)

【特徴】

- ①本プログラムは、JRCS (Ver. 3.0) をベースに、近年改訂された「鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計）（H24年9月）、（基礎構造物）（H24年1月）」に準拠して、設計法の変更対応、プログラム機能の充実および性能向上を図った改良を行ったものです※。
- ②本プログラムは、ケーソンの安全性（基礎の安定）、使用性（基礎の支持性能）および復旧性（基礎の残留変位）の性能を照査することができます。
- ③地震時の場合、新しい耐震標準に準拠した JRSNAP【静的非線形解析プログラム】との連携により、軸力変動を考慮した上下部工一体のプッシュオーバー解析、応答変位法による解析および構造物耐震性能の自動照査を行うことができます。なお、部材の耐震検討に必要な最大断面力は、JRSNAP から JRCS へ取り込むことができます。
- ④JRSNAP の複数入力データでの連続解析機能、および各種出力帳票類の作成機能が使い、設計の効率化が可能です。なお、JRSNAP との正しい連携に必要な相互運用性の確保機能を備えています。
- ⑤地震時以外の場合、JRCS の本体で各要求性能に対して、各部材（側壁、頂版、頂版支持部など）における断面力の算出および照査を自動的に行えます。
- ⑥ネットワークライセンス化により、バージョンアップが便利になりました。

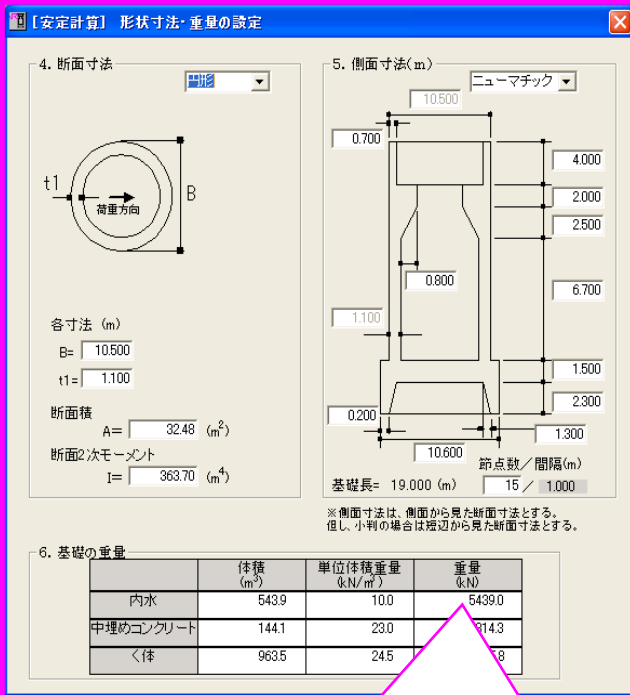
※JRCS (Ver. 4.0) の改良に関する詳細は「JRCS の更新一覧」をご覧ください。

【用途】

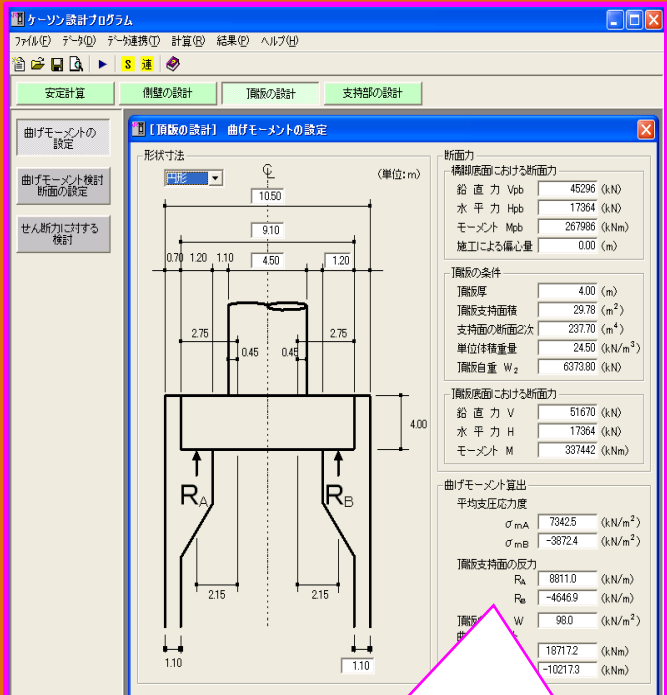
- ①「鉄道構造物等設計標準・同解説」に準拠したケーソン基礎の設計に利用できます。
- ②対象としている各種のケーソン基礎（円形、矩形、小判型）の荷重を算出し、側壁、頂版および頂版支持部の断面力を計算して、各要求性能に対する自動照査ができます。
- ③耐震検討において、JRSNAP と連携することにより、上下部工一体のプッシュオーバー解析を行い、応答変位法による解析、各部材の自動照査および構造物耐震性能の自動照査を行うことができます。

【動作環境】

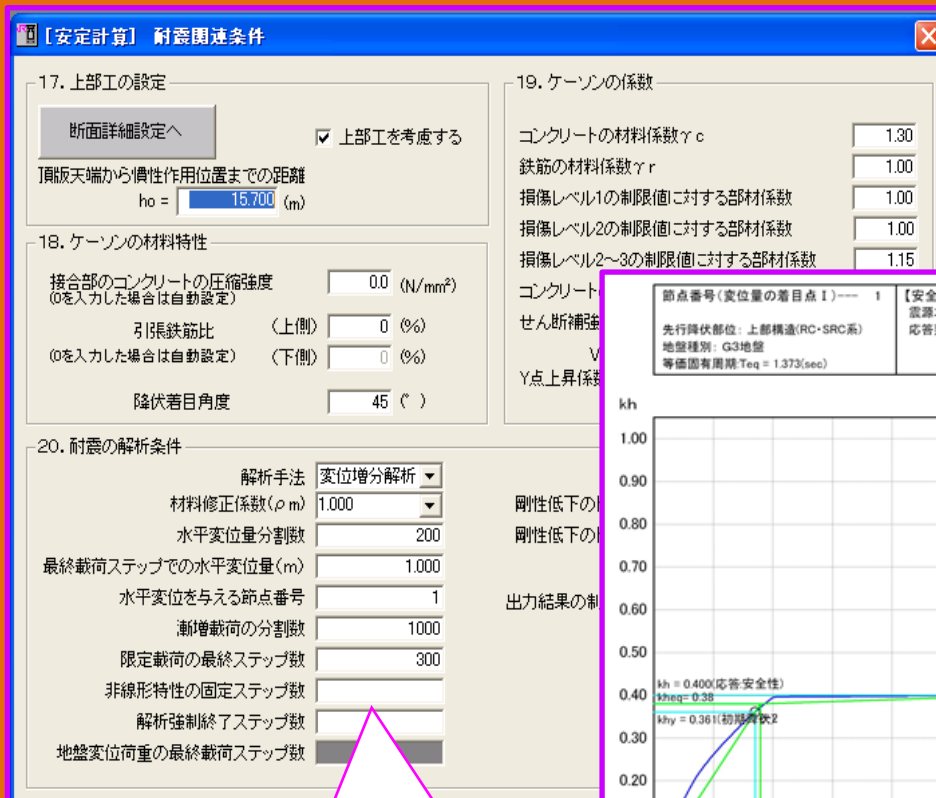
- ①O S : WindowsVista®、Windows7® （Windows8® は動作未確認）
- ②C P U : 512 メガヘルツ (MHz) 以上のプロセッサ (2.0GHz 以上を推奨します)
- ③メ モ リ ー : 512 メガバイト (MB) 以上 (1.0GB 以上を推奨します)
- ④プ リ ン タ ー : OS の動作環境に対応した機種
- ⑤そ の 他 : インターネットへ接続できる事(ライセンス認証用)



ケーソン形状・寸法の入力画面

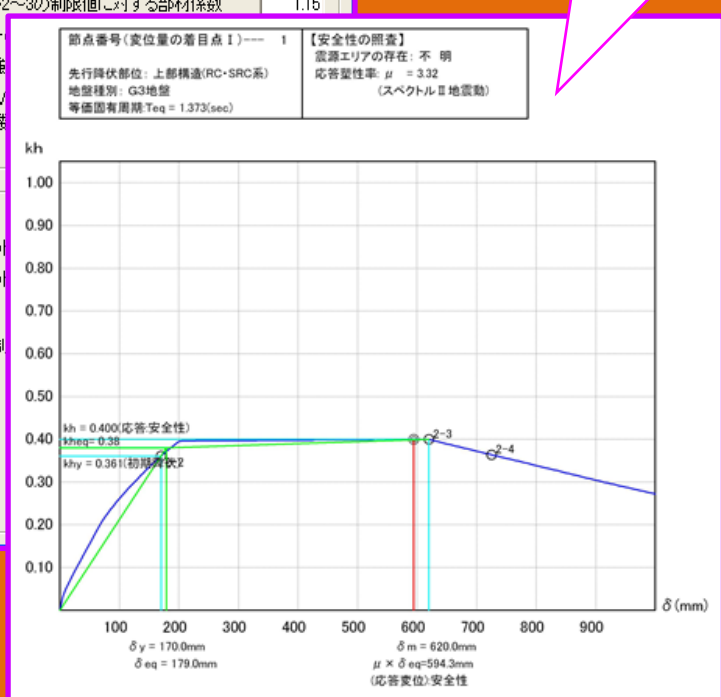


頂版の曲げモーメントの設定画面



耐震解析条件の設定画面 (JRSNAP と連携のため)

JRSNAP による
解析・照査結果
(荷重-変位曲線)



●開発：公益財団法人鉄道総合技術研究所

●発行：(株)ジェイアール総研エンジニアリング(ソフト販売窓口)

〒185-0034 東京都国分寺市光町 2-8-38

TEL 042-575-3821

E-mail support_sale@jrseg.co.jp

URL <http://www.jrseg.co.jp/>